

公益社団法人日本精神保健福祉士協会 **基幹研修Ⅲ** (2019 年度)  
**ピア・スーパービジョンのためのレポート**

氏名 \_\_\_\_\_ 本協会所属支部（都道府県）名 \_\_\_\_\_ 支部 \_\_\_\_\_

構成員番号 \_\_\_\_\_ 所属機関 \_\_\_\_\_

研修日 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日 \_\_\_\_\_ 会場 \_\_\_\_\_

**注意** レポート作成にあたり、裏面の「レポート記載要領」を必ずお読みください。

項目 1. 所属機関の概要と自己紹介
項目 2. レポートテーマ「 _____ 」
項目 3. この実践・事例を選んだ理由
項目 4. 自身が考察・検討したいと感じている実践の概要について記入してください。
項目 5. 考察および検討したいポイントを記入してください。
項目 6. 個人情報記載の有無 <p style="text-align: center;"><b>有 ・ 無 （どちらかに必ず○。「有」の方は署名してください。）</b></p> <p>私は個人情報の記載に関してご本人の同意を得ています。          [ 受講者氏名署名（自筆） ]</p>

以下の内容をご確認の上、間違いがなければチェック☑をしてください。☑のないレポートは受け付けられません。

- このレポート作成にあたり「レポート記載要領」に目を通しました。
- 個人情報記載の有無に○をつけ、有の場合は本人同意の下での提出であることを自筆署名にて明示しました。

※この書式は、<http://www.japsw.or.jp/report3.html> からダウンロードできます。

## ◆レポート記載要領（よくお読みください）◆

- レポートは、申込書とともにご提出いただき、確認後に受講決定となる仕組みです。
- レポートは、「ピア・スーパービジョン（PSV）」のグループ討議で活用するため、同グループ内の受講者同士で配布します。どの方の（或いは全員の）レポートを検討するかは班内で協議いただきます。原則として回収はしませんので、提出者が回収を希望する場合は、各自の責任において、グループ内で回収してください（保管には参加者相互の守秘義務の徹底を呼びかけるとともに、提出いただいたレポートは本協会研修センターで厳重に保管します）。

## ピア・スーパービジョンのためのレポート

### 【作成上の留意点】

- 個別援助事例に限らず、地域活動や教育現場での実践等、ご自分の日常的な実践を振り返りまとめてください。
- 本レポートは、事例検討ではなくPSVのために作成いただくものです。
- 個別事例を提示される場合は、個人が特定されないよう加工するとともに、**必ずご本人の同意を得てください**（検討するテーマが個別事例に関するだけでなく、「自身の勉強のために利用者の情報を使わせていただく」ことから、特定の個人が読み取れる情報を含む場合もこれに該当します。また実習生や職場の部下等も個別事例とみなします）。そのうえで、同意を得ている旨をレポート書式の所定の欄に署名することで明示してください。**同意のない場合、レポートの再提出を求める場合があります。**
- 提出事例に関する説明と同意の義務および利用者に対する守秘義務は事例提出者に帰属します。本協会では責任を負いませんので、精神保健福祉士としての倫理を認識し適切な方法でレポートを作成してください。
- 「実践レポートの扱いに関する留意点」もご確認ください（生涯研修制度共通テキスト第2版（P184）より抜粋）。

Point !

#### 図Ⅲ-31 実践レポートの扱いに関する留意点

【利用者本人の同意を得ること】自身の勉強のために利用者の情報を使わせていただく意識を明確にもち、利用者に説明して理解を求めるとともに、ピア・スーパービジョンの参加者が同一職場でない場合、利用者の同意を得られないレポートは原則として提出しない。

【個人が特定されないよう加工すること】事例レポートには氏名・機関名・市町村名などのイニシャルを使わない。年号は「X年」「X-3年」と記載する。

【レポートの管理に留意すること】ピア・スーパービジョン参加者に配付する資料は、終了後に提出者が回収、または参加者各自が厳重に保管、などを徹底する。

- 本レポートにおいて個別事例でのご提出が難しい場合は、精神保健福祉士の視点をもって日頃の活動の中で感じている課題を、一般化してグループ内で検討したい課題等にまとめてください。
- 〈項目1〉は所属機関の概要と自己紹介です。機関種別・事業概要等・勤務形態・業務内容・経験年数などをご紹介ください。〈項目3〉はこの実践・事例を選んだ理由です。実践から気付かされた課題、葛藤、違和感、悩んでいる理由などお書きください。〈項目4〉はご自身が考察・検討したいと感じている実践の概要についてです。所属機関もしくは地域でのソーシャルワーカーとしての実践・個別事例などをお書きください。〈項目5〉は、現状をあなたはどのように感じているのか、また精神保健福祉士の「専門性」および連携や協働などを含めた「実践」を今後どのように展開することで、状況の改善を図ることができるかと考えているのか、についてお書きください。